

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

評価 責任 者	所属	総務局 市長公室 広報課
	氏名	課長 浪越 達也

政策	2 国内外からの誘客と交流を推進します
----	---------------------

施策	1 静岡市ならではの資源を活用したシティプロモーションの推進
----	--------------------------------

施策の 目的	静岡市出身の漫画家「さくらももこ」氏のキャラクターなど、静岡市ならではの資源を活かし、中部広域観光推進協議会への参加や姉妹都市や周辺市町との連携により、観光資源をはじめとした本市の魅力を広く発信することで、シティプロモーションを強化し、国内外からの交流人口の拡大を図ります。
-----------	---

## (1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	<b>S：施策の目的が十分に達成されている。</b>	理由	定期的なプレスリリースやメディアを本市に招くプレスツアー、首都圏での記者発表会の開催など、継続的にメディアと連携しながらPR活動を実施した結果、都内在住の方が本市の情報を見聞きする機会が増え、「情報接触度」が対前年度比約1割増加したため、「S」評価とした。
	令和2 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	新型コロナウイルスの影響により、プレスツアーや発表会などの直接的な情報発信はできなくなってしまったが、定期的なプレスリリースを拡充したり、WEB上で本市を認知してもらうための動画を作製する等、コロナ禍でも実施できる方法で、継続的にメディアと連携しながらPR活動を実施し、本市の情報を見聞きする機会を提供し続けた結果、達成率が97.5%となったため「a」評価とした。
	令和3 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染状況を踏まえプレスツアーなどの直接的な情報発信ができなかったが、開館40周年を迎えた芹沢銈介美術館や、レッサーパンダの赤ちゃん誕生、大河ドラマで取り上げられた「渋沢栄一」に関する情報等、メディアが取り上げやすいコンテンツを選んだプレスリリースの実施や、首都圏における中部5市2町主催の街道プロモーションイベントのメディア向け取材会の実施による、多くのメディアに本市の特産品が取り上げられた結果、「情報接触度」が目標値を達成したため「a」評価とした。
	令和4 年度	<b>A：施策の目的が達成されている。</b>	理由	メディアを本市に招くプレスツアーを2年ぶりに開催し、本市の魅力を体感していただくことにより雑誌等で特集記事が生まれ、確実なメディア露出につながった。このほか、定期的なプレスリリースを継続的に発信した結果、「情報接触度」が目標値を達成したため、「a」評価とした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。  
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率 (%)	評価	目標値の算出根拠
			1	54.00%	58.40%	108.1%	s	
情報接触度 (静岡市について見聞きしたことがある人の割合)	53.6% (平成30年度)	2	54.35%	53.00%	97.5%	a		
		3	55.00%	55.90%	101.6%	a		
		4	60.00%	62.90%	104.8%	a		
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
指標 成果 以外の	テレビ、新聞、雑誌等のメディア露出件数は、減少傾向だったコロナ禍（R1～R3年度：平均1,650件程度）を経て、R4年度は2,000件を超えており、本市の魅力発信が図られた。	2						
		3						
		4						
		1						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
シティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「静岡市はいいねえ。」キャンペーン（さくらももこ氏作成のイラスト活用事業）</li> <li>観光親善大使活用制度事業</li> <li>情報発信力強化事業</li> <li>「まるちゃんの静岡音頭」普及啓発事業</li> </ul>	1	1	13,004	0	10,896	1.0	—	—	○
			2	16,504	0	12,680	1.0	—	—	
			3	22,479	0	19,000	1.0	—	—	
			4	23,474	0	16,636	1.0	—	—	
ロケーション撮影の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種番組等の撮影支援</li> <li>映画製作会社等の撮影費用に対する奨励金の交付</li> </ul>	2	1	10,000	0	10,000	0.5	—	—	○
			2	6,000	0	2,024	0.5	—	—	
			3	6,000	0	0	0.5	—	—	
			4	6,000	0	0	0.5	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、今後も一層静岡市の認知度を高めていくため、第4次総合計画においても引き続き「シティプロモーションの推進」を位置づけ、首都圏メディアを招聘したプレスアワーの開催や定期的なプレスリリースを継続することで本市の魅力を発信し、かつ、「静岡市はいいねえ。キャンペーン」や「ロケーション撮影の支援」の取組を行いながら、今後もシティプロモーションの推進に取り組んでいく。

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

政策	2 国内外からの誘客と交流を推進します
----	---------------------

施策	2 静岡市の特長を活かしたMICEの誘致
----	----------------------

**施策の目的**  
 3次総に掲げる「世界に輝く静岡の実現」のため、経済効果の高いMICEの誘致を推進します。誘致活動の際は、本市の特長を活かし、本市開催の意義や必然性をアピールし、誘致活動をしていきます。  
 また、東京2020オリンピック・パラリンピック開催により、これまで東京等で開催してきた大型コンベンションの会場が使用不可となることが想定されるため、ツインメッセ等のコンベンション施設を使用した本市開催を提案していくことで、MICEの誘致を推進し交流人口の拡大を図っていきます。

評価責任者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 福地 剛

## (1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルスの影響により、指標としている「MICEの支援件数」が下振れしたものの、年度途中までは支援件数も順調に推移しており、また、「受入MICEの参加者数」については目標を大きく上回る成果を得られたため。
	令和2年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響（緊急事態宣言の発出等）により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業が実施できなかった。また、設定している指標「MICE支援件数・受入MICEの参加者数」についても、新型コロナウイルス感染症の影響による会議等開催中止の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。
	令和3年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響（緊急事態宣言の発出等）により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業が実施できなかった。また、設定している指標「MICE支援件数・受入MICEの参加者数」についても、新型コロナウイルス感染症の影響による会議等開催中止の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。
	令和4年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響は過年度よりは少なくなり、国内外の移動は少しずつ戻ってきたが、継続して県や国をまたいだMICEの開催は控えられていたため、当初想定していた事業が実施できないケースが多かった。また、設定している指標「MICE支援件数・受入MICEの参加者数」についても、新型コロナウイルス感染症の影響による会議等開催中止の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。

※【評価基準】S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率 (%)	評価	目標値の算出根拠
		2	169件	12件	7.1%	d		
		3	171件	46件	26.9%	d		
		4	174件	102件	58.6%	d		
受入MICEの参加者数	344千人 (H27～29の平均)	1	347千人	432千人	124.5%	s		
		2	351千人	85千人	24.2%	d		
		3	354千人	59千人	16.7%	d		
		4	361千人	237千人	65.7%	d		
指標以外の成果								

※【評価基準】s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①MICEキーパーソン訪問・招聘事業	・MICEキーパーソン訪問・招聘 ・関係省庁への情報収集、誘致活動	1	1	796	0	265	0.5	0.1	0.0	-
			2	796	0	273	0.3	0.1	0.0	
			3	687	0	0	0.3	0.1	0.0	
			4	630	0	31	0.3	0.1	0.1	
②全国大会等開催支援事業	・市内での会議、学会、各種大会主催者に対する補助	1	1	28,900	0	26,937	0.1	0.5	0.0	△
			2	33,000	0	3,452	0.1	0.3	0.0	
			3	25,000	6,400	16,356	0.1	0.3	0.0	
			4	33,554	0	32,315	0.1	0.3	0.0	
③日仏自治体交流会議の誘致・開催	・日仏自治体交流会議の誘致活動 ・仏語CIR（国際交流員）の活用	1	1	4,030	0	3,989	1.0	1.0	0.0	○
			2	501	0	154	1.0	1.0	0.0	
			3	5,620	0	187	1.0	1.0	0.0	
			4	5,333	0	7,177	1.0	1.0	0.0	
④ツインメッセ静岡の機能強化の検討	・施設の機能維持・強化に向けた改修計画について（公財）静岡産業振興協会との協議 ・南館大規模改修工事の実施時期の決定（R4） ・南館大規模改修工事に向けた基本計画策定業務の実施サポート	1	1	5,000	0	4,895	0.2	0.0	0.0	○
			2	18,000	0	17,875	0.2	0.0	0.0	
			3	44,990	0	44,990	0.2	0.0	0.0	
			4	1,318,500	0	1,217,070	0.2	0.0	0.0	
⑤東京2020オリンピック・パラリンピックの合宿等誘致事業	・2020年東京オリパラ事前合宿誘致方針に基づく誘致活動 ・東京オリパラ事前合宿の受入れ（台湾陸上、スペインバドミントン・バドミントン、モーリシャス各競技） ・国内競技団体等への誘致活動	1	1	44,656	0	27,881	1.4	0.1	0.0	○
			2	41,256	0	4,291	1.4	0.1	0.0	
			3	45,395	13,943	34,637	5.0	0.2	0.0	
			4	1,447	0	248	1.0	-	0.1	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、-：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

静岡市の特長を生かしたMICEの誘致について、これまでMICE実施を制限する形となっていた新型コロナウイルスの影響も少なくなり、今後はMICE開催の機運が世界的に高まることが推測されるため、静岡市のMICE誘致を担うのが企画観光局の経営計画に基本方針として『MICE誘致の推進』を位置づけ、MICE開催主催者やキーパーソンへのセールス等の取組を強化していき、観光庁が選定する日本におけるMICE誘致競争をけん引することができる都市である『グローバルMICE推進都市』に選定されるよう、静岡市の特長を活かしたMICEの誘致の推進に向けて引き続き取り組んでいく。

③日本側推進委員会（6月）、日仏合同推進委員会（秋）を活用しながら、令和6年度の第8回日仏自治体交流会議の準備を行う。

④南館大規模改修工事については、令和4年5月から令和5年4月にかけて実施し予定通り終了した。引き続き、南北両館の利用促進に向け、（公財）静岡産業振興協会と催事誘致等において連携していくとともに、必要な計画修繕の着実な実施を支援していく。

⑤台湾陸上協会と令和3年3月に「静岡市及び台湾陸上協会間の協力に関する覚書」を締結した。台湾陸上代表チームの継続的な合宿の受入のほか、陸上競技を通じた人的、文化的交流を行っていく。また、他の国内外の競技団体とは、継続的に市内での合宿を実施してもらうように交渉を進めていくとともに、受け入れ施設との連携体制を構築し、情報の共有を図り、受入れのノウハウを確立していく。

# 施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	1 観光・交流
----	---------

政策	2 国内外からの誘客と交流を推進します
----	---------------------

施策	3 多様なネットワークを通じた世界の人々との交流促進
----	----------------------------

施策の目的	富士山静岡空港就航先のネットワークを活用した国内プロモーションや、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて急増する訪日外国人観光客を静岡へ誘致するため、韓国、台湾、タイ市場を中心とし、現地でのプロモーションや情報発信事業等を実施することにより、国内外からの誘客と交流を推進します。
-------	---

評価 責任 者	所属	観光・MICE推進課
	氏名	課長 福地 剛

## (1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	<b>B：施策の目的があまり達成されていない。</b>	理由	新型コロナウイルスの影響により、令和2年2月以降、成果指標の実績が著しく下振れしたが、1月以前の実績は現状値を上回る推移をしていたことから、施策を計画的に実施した効果があったものと評価する。 一方で、新型コロナウイルスの影響による施策への影響は今後も長期的なものとなること懸念されるため、総合評価は達成率と同等のB評価とした。
	令和2 年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響（緊急事態宣言の発出等）により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業が実施できなかった。また、設定している指標「外国人宿泊者数」についても、新型コロナウイルス感染症の影響による海外への渡航制限等の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。
	令和3 年度	—	理由	一新型コロナウイルス感染症の影響（緊急事態宣言の発出等）により国内外の移動が大きく制限され、当初想定していた事業が実施できなかった。また、設定している指標「外国人宿泊者数」についても、新型コロナウイルス感染症の影響による海外への渡航制限等の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。
	令和4 年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響は過年度よりは少なくなり、国内外の移動は少しずつ戻ってきたが、継続して県や国をまたいだ催し物は控えられていたため、当初想定していた事業が実施できないケースが多かった。また、設定している指標「外国人宿泊者数」についても、新型コロナウイルス感染症の影響による海外への渡航制限等の影響を受けて著しく減少しているため、適正な実績値として評価することができない。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。  
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

## (2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	外国人宿泊者数		59千人	1	68千人	60千人	88.2%	b
2				77千人	5千人	6.5%	d	
3				86千人	9千人	9.6%	d	
4				94千人	12千人	12.8%	d	
指標 成果 以外の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
①外国人観光客の誘致	・台湾プロモーション ・韓国プロモーション ・タイプロモーション	1	1	6,264	0	4,688	1.0	0.0	0.0	△
			2	7,468	0	2,265	1.0	0.0	0.0	
			3	6,963	0	2,897	1.0	0.0	0.0	
			4	2,596	0	2,265	1.0	0.0	0.0	
②訪日教育旅行の誘致	・各種訪日教育旅行補助制度の紹介 ・貸切バス代の補助	1	1	2,000	0	194	0.6	1.0	0.0	△
			2	1,000	0	0	0.6	1.0	0.0	
			3	500	0	0	0.6	1.0	0.0	
			4	536	0	242	0.6	1.0	0.0	
③富士山静岡空港就航先との交流促進	金沢市との交流 ・金沢百万石まつりへ観光PRブースを出展 ・静岡まつりへの金沢市観光ブースの受入 那覇市との交流 ・静岡まつりへの那覇市観光ブースの受入	1	1	145	0	62	0.1	0.0	0.0	△
			2	145	0	0	0.0	0.0	0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	60	0	60	0.1	0.0	0.0	
④「まちは劇場」推進事業	・「まちは劇場」ブランディング ・フェスティバル評価システム構築ほか	1	1	35,939	0	20,549	1.1	0.0	0.0	○
			2	27,917	0	17,111	1.1	0.0	0.0	
			3	35,917	0	34,975	1.1	0.0	0.0	
			4	33,294	0	32,696	0.8	0.1	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

①現状の課題として、静岡市は外国人観光客（インバウンド）誘致のための戦略的な施策がない状況であるため、一から施策を構築していく。そのためには、データに基づいたマーケティング戦略の策定（『どういう国』の『どのような顧客』に対し『何を実施する』ことで『どのような結果』が得られるかを分析すること）が必要であるため、令和5年度中に外部有識者の「知」を積極的に導入した、観光全般の戦略を策定するための組織を立ち上げ、その中で外国人観光客（インバウンド）誘致についても基本的な政策を取りまとめ、マーケティングに基づき、ターゲット選定や商品企画、プロモーションなどの事業立案を推進していく。

②令和5年5月、新型コロナウイルス感染症による渡航制限が全面解除されたことから、訪日教育旅行や学校交流に関する外部からの問合せが増えている。関係機関と連携し、着実に受入を進める。

③富士山静岡空港就航先との交流促進事業について、静岡市へ観光客を誘客する効果の高い就航先の都市を中心に引き続き交流先での観光PRブース出展及び就航先からの観光ブース出展の受入を実施し、引き続き交流促進事業を推進していく。

④体験を通じて「まちは劇場」の理念を共感してもらうアートプログラム事業や、「まちは劇場」政策の事業評価の実施により、本市の魅力・価値を国内外に発信することができたが、直接的な国内外からの誘客には結びついていない点を課題として捉えている。このため、第4次総合計画では、「まちは劇場」プロモーション事業を位置づけ、ホームページやSNSの活用、東アジアを中心とした文化交流を通じたプロモーションなど、来訪者とのコミュニケーション・ツールの機能充実や国内外に向けた情報発信の取組を強化していくことで課題の克服を目指しつつ、今後も「まちは劇場」の推進に向けて引き続き取り組んでいく。